

平成23年 第2回御嵩町議会定例会

施政方針（所信表明）

平成23年7月7日

所信表明を述べるにあたり、冒頭に東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

去る6月12日、御嵩町にとって初の町長と町議会議員の同時選挙が実施されました。4月26日任期満了以降46日間町長不在となりましたが、その間職務代理者として御嵩町行政を守って頂いた副町長はじめ職員に対し、改めて感謝の意を表します。6月7日告示されました町長選挙においては、私に対して6,672票を投じていただき、当選させていただくことができました。身の引き締まる思いで、選挙スタッフまた支持者と喜びを分かち合いました。

私は、これまでの4年間で、お示したマニフェストの達成度については、おおむね合格点がいただけるのではないかと考えておりました。また、これからの4年間に取り組みたいと思う政策を訴えながら、選挙戦を戦って参りましたが、それらに対する評価が、今回の選挙結果に表れたのではないかと考えております。

私は、町長選挙が実施されたことについては、最初は戸惑いもありましたが、次第に良かったと思えるようになりました。実績・反省点も踏まえ、過去4年間を振り返ることができましたし、マニフェストを掲げながら選挙をすることで、私自身の頭の中の整理ができ、これからの4年間でなすべき重要な課題が明確となり、より多くの町民の皆様、私の政策を深く知っていただく機会を得たからであります。

私は、過去に町議選・町長選と合わせ5回の選挙を経験しておりますが、今回の選挙ほど町内をくまなく廻らせていただいたこと、また様々な立場の多くの方にお会いしたことはありません。そして、この機会に町民の皆様の声をとくさん聴くことができました。今後4年間、貴重な声を基に作り上げたマニフェストを、しっかりと腰を据えて実現していきたいと思っております。

しかし、他方では私ではない候補者に投票された方が3,360人いらっしゃることも確かです。その理由を解析することも、私のこれからの4年間の重要な仕事と言えます。4年後にはそうした方々にも渡邊町長になって良かったと言っただけのような町政運営をしていきたいと思っております。

それでは、私のマニフェスト、また選挙時に演説等で触れました点についての一部をご説明させていただきます。

【災害に強いまちづくり】

昨年の7.15災害を教訓とした防災対策につきましては、これまでも度々申し上げてきたところですが、東日本大震災の発生により、いかに想定範囲を広げていくかという課題について、思い知らされることとなりました。同時選挙となり、46日間の町長空席期間が生じ、最も無力感を持ったのも大震災に対してです。

私は、震災の状況が明らかになっていくにつれ、被災された方々のことを思えば、同じ日本人として何かできることをしなければという思いに駆られました。

まず、全国産廃問題市町村連絡会のネットワークを通じ、栃木県那須塩原市に対して物資や水の支援を行い、また町民の皆様より寄せられた段ボール379箱分の支援物資を、可児市の東岐運輸のご協力をいただきながら宮城県石巻市へ搬送しました。さらに、宮城県白石市への文房具の支援、岩手県陸前高田市への保健師の派遣などを実施しております。

災害時に、町職員や消防団員の働きは非常に重要であり、今後の職務に生かせるよう、未曾有の震災の状況について知っていただく必要性を強く感じております。このため、数回に分けて現地に派遣し、支援作業を通じて被災した状況下で何をすべきかを学んでいただくことを計画し、補正予算で必要経費を計上しております。

今回の震災では、災害支援協定を結んでいる自治体間において、スピーディーかつ適切な支援が行われたように聞いております。今後の課題として、他の市町村と支援協定を締結することも視野に入れ、様々な防災対策を展開していくことを考えております。

【安全なエネルギー政策】

安全なエネルギー政策としましては、リーマンショック経済対策の交付金を活用し、駅前に「御嶽宿さんさん広場」を象徴的存在として整備させて頂いたのはご承知の通りです。

平成22年度には、「みたけ太陽光発電マップ」を作成し、「町クリーンエネルギービジョン」を策定いたしました。

今後その流れを踏まえ、計画を具体的に町民の皆様にお示しいたします。

【亜炭鉱廃坑問題の解決に向けて】

亜炭鉱廃坑問題の解決に向けて、本日午後より、あらゆる可能性を模索するため、「御嵩町亜炭鉱廃坑対策プロジェクトチーム」を発足させます。

町民の皆様のため、担当業務をしっかりと務めつつ、行動の伴う議論をさせる所存です。

【名鉄広見線対策】

次に、名鉄広見線対策であります。地元東濃高校の活性化こそが広見線対策と位置付け、対応して参ります。

また、法定協議会については、御嵩町の一人相撲とならない様、関係者との協力関係を構築しつつ、年度内に設置することを目標としております。

【産業廃棄物処理施設設置計画問題】

前沢地区における産業廃棄物処理施設設置計画については、選挙戦であらゆる面から検討し、受け入れないことを前提とした、行政運営を図ると申し上げて参りました。その姿勢を崩すことなく、町民の皆様、町民の代表である議会と歩調を合わせたいと考えております。

その他多くの事業について、選挙期間中に申し上げて参りましたが、新議員によって9月に開催される定例会の挨拶の中でも詳しくご説明させて頂く所存ですので、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回議案として提出いたします案件について、若干述べさせて頂きま

まず、今回提案の一般会計補正予算関連についてであります。骨格予算として編成した平成23年度当初予算に肉付けさせていただくなどの予算を計上いたしました。

まず歳入についてですが、上之郷保育園の耐震及び大規模改修工事の財源として、福祉向上基金繰入金600万円、民生債600万円、さらに繰越金3,105万1千円等を計上し、歳入補正額合計は6,178万円となっております。

次に歳出であります。上之郷保育園の耐震工事費として2,552万6千円、設計委託料とし

て308万5千円、東日本大震災の被災地でボランティア作業を実施するための職員及び消防団員の旅費として48万円、バス利用等に要する委託料として264万円等を計上し、歳出補正額合計は6,178万円となっております。

以上、二期目の町政運営の舵を取らせていただく所信を表明させていただくとともに、補正予算の概要について、ご説明申し上げます。

御嵩町には大小さまざまな問題が山積しております。これらの問題に取り組んでいくには、議会や町民の皆様との信頼関係が重要であります。職員との信頼関係も重要であります。

これからもチームワークを大切に、私と職員一丸となって全力で町政にあたっていきます。

「チーム・ワタナベ」の新たな四年間のはじまりです。

議員の皆様、どうぞ宜しくお願いいたします

また、今回の同時選挙において町議会議員選挙に立候補された現職の方は全て再選され、誠におめでとうございます。また、ご勇退される方につきましては、長い間お疲れさまでした。

7月26日からは、新しく当選された議員の方々の任期が始まります。今後も議会において活発で前向きな議論ができることを期待しております。

今回提案いたしますのは、一般会計及び下水道特別会計の補正予算に関する議案計2件であります。

後程担当から詳細についてご説明申し上げます。よろしくご審議の程お願いいたします。

長時間にわたりご静聴ありがとうございました。

引き続き、皆様のご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。